



# 議会だより あさぎり

No.30  
H23.5.16発行

## 歌・音の世界へ挑戦

人吉球磨の耳の不自由な方たちの「耳の日ふれあい」イベントが3月13日、錦町福祉センターでありました。

太鼓の演奏では「小さい頃から音楽というものを聞いたことのない私たちには初めて感じる音の振動でした」身体的にハンデのある方の強さ、明るさ、こちらの方が大きな元気をもらいました。

|                  |        |
|------------------|--------|
| 大震災義援金拠出……………    | 2P     |
| 条例の制定・特別決議……………  | 3P     |
| 当初予算……………        | 4～5P   |
| 一般質問……………        | 6～9P   |
| 常任委員会等報告……………    | 10～11P |
| 木の博覧会……………       | 12～14P |
| インターネットで生中継…………… | 14P    |
| 町の新しい風……………      | 15P    |
| 町民の声……………        | 16P    |

## 東日本大震災

# 千七百二十万円を

# 義援金拠出

議長 橋爪和彦

東日本においては、千年

に一度とも言われる予想すら出来なかつた大震災、大津波が襲い、未だに災害規模の特定さえ出来ていません。被災地では、命を懸けた献身的な救助活動が行われ、世界中の多くの国々や地域からも救助や支援の手が差し伸べられているのは周知のとおりです。

震災直後の急激な円高は各国の協調介入等により解消の方向ですが、経済界がこうむった痛手は甚大なよ

うです。市民による買い

占め、買いだめの要因も加わつた物資不足も一時深刻でしたし、収束の見込みがたたない福島原発事故による風評被害も懸念されるどころです。

我が国が国難ともいえるこの災害を乗り越えて、再度奇跡の復興を成すためには、国民が我欲を抑制し、自ら出来る範囲での奉仕を心がけ、一定の日常生活の不便に耐える覚悟をして頂くことが必須条件だと考えら

れます。

あさぎり町では、定例議会最終日に千七百二十万円の義援金拠出を議決しました。翌週、町長に同行して県庁に向き、直接蒲島知事に手渡ししてまいりました。

先頃、国交省八代事務所長から、震災に伴い、市町村への補助金と社会資本整備総合交付金等は、原則五%留保との説明がありました。本町では、当初予算に特別交付税一億六千五百万

円を計上し

ていますが、これも見込めない模様です。資材価格高騰による工事費用の増額も必至で、自主財源の乏しい本町財政にとつても非常事態です。あさぎり町議会と致しましては、町執行部と協調しながらも、議論し、切磋琢磨して、一段と節約と無駄の排除に努め、健全な財政運営に邁進していく覚悟をあらたにしています。

今後、町民の皆様におかれましても痛みを伴う改革が必要な時があるかもしれません。ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



町長・議長より蒲島知事へ手渡す。(知事応接室)

# ■ 条例の制定 及び 特別決議 ■



消防団分列行進(入退団式)

十八歳以上の者で当該消防団の区域内に住居、又勤務する者。(年齢要件の撤廃)

※あさぎり町消防団条例の一部を改正する条例の制定

この条例は地域経済の振興に係る事業を実施するため三億円の基金を設置するものです。

※あさぎり町産業活性化基金条例の制定

- EPA基本方針の中でも大前提として位置づけるべき。
- TPP参加については拙速な参加表明は行うべきでない。
- EPA交渉相手国の選定は総合的に勘案すべき。以上特別決議する。

※EPA、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加への慎重な対応を求める特別決議

一、一般職の非常勤職員の通勤に要する費用弁償を支給するため。  
二、労働安全衛生法に基づく健康管理医の報酬及び費用弁償を定めるため。

※あさぎり町の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方公務員の非常勤職員について育児休業及び部分休業をすることができるようにするため。

※あさぎり町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

**賛成討論** 総務文教委員会が旧上学校給食センター解体工事に関わる調査をされた結果を踏まえて総務委員長の提案に賛成討論とする。

**反対討論** 専決処分がなされた場合には議会に報告するようになっていた。この条例は設置したときの原点に返り着手後の工事内容の変更など現場の実情に応じ工事を中断することなくスムーズに進捗させていくためこの条例廃止案には反対とする。

**発議四号**  
※町長の専決処分事項の指定に関する条例を廃止する条例の制定  
(総務委員会提案)

○町長の月額給与六十三万三千元を七十八万七千元に。  
○副町長の月額給与五十四万七千元を六十万五千元に。  
○教育長の月額給与五十一万一千円を五十三万五千元に。

※あさぎり町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

## ◆3月定例議会議案表決一覧(抜粋)

| 議案名   | 議員名 | 岩水 | 永井 | 桑原 | 奥田 | 豊永 | 淵田 | 愛甲 | 小見田 | 田原 | 皆越 | 樫山 | 浦本 | 溝口 | 久保田 | 宮原 |
|---|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 産業活性化基金条例の制定                                |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ×  |
| 平成22年度一般会計補正予算(第8号)                         |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  |
| 平成23年度一般会計予算について                            |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  |
| あさぎり町立上中学校校舎増築改修工事請負契約の締結                   |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  |
| あさぎり町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定 |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ×  |
| あさぎり町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定        |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ×  |
| 平成22年度一般会計補正予算(第9号)                         |     | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  |
| 町長の専決処分事項の指定に関する条例を廃止する条例の制定                |     | ○  | ×  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×   | ×  | ×  | ×  | 注1 | ×  | ×   | ○  |

※注1:早退

# 4千円

平成23年度一般会計当初予算が93億6,314万4千円で可決されました。今回は、4月に町長選挙を控えている事から、骨格予算の編成となっており、この予算の肉付け的な部分は、次の議会で提案されます。尚、予算の内訳につきましては、広報あさぎり5月号に詳細に掲載されておりますので、ここでは本会議で審議された中からいくつか抜粋して掲載いたします。

## 総務文教常任委員会所管課分

肉付けの予算は。

**問** 九十三億六千三百四十四万四千円は骨格予算という事だが、企画財政課としては、肉付け予算としてどれくらいの額を考えているのか。

**答** 東北地方の大震災により、特別交付税の動向が不透明だが、十二億円程度は想定している。

**消防総務費**  
**上球磨消防組合負担金二億七千八百万円**

**問** この負担金が、上球磨消防組合の予算に占める割合は。

**答** 当初予算に計上されている分については、構成町村負担金の四十九パーセント程度である。



上球磨消防署

## 厚生常任委員会所管課分

**社会福祉費**  
**委託料一億四百四十六万円**

**問** ヘルシーランドや、温泉センターは多額の赤字となっている。利用料金等の見直しも考えなければならぬと思うが。

**答** 回数券や共通券を作り利用者が増えるように努力はしているが、なかなか利用者が

増えないのが現状である。豆乳温泉等新しいアイデアもあるので、指定管理者の社協と協議しながら、少しでも利用者が増えるように努力していきたい。



ヘルシーランド

**健康づくり推進事業費四百十萬九千円**

**問** 球磨郡市には、自殺予防や認知症予防等の精神疾患の拠点医療センターが無い。公立病院や総合病院等に専門の医師を招聘して、拠点的な精神疾患医療センターができないのか。

**答** MRI等の設備の基準があるが、多良木公立病院の設備には十分可能性があると思われる。公立病院の取組みとして提案したい。

# 平成23年度 一般会計当初予算 93億6,314万

## 建設経済常任委員会所管課分

### 駅前整備事業費

五千九百九十三万七千円

**問** 駅前整備事業費の設計委託料と公有財産購入費、建設建物補償費の具体的な説明を。

**答** 設計委託料は、肥後銀行跡地を、道路を目的とした一部駐車場という形で整備をする設計委託。公有財産購入費は、駅前ロータリー部分と国道沿いの一区画の用地購入。建設建物補償費は、駅前ロータリー部分の家屋と国道沿いのブロック塀等の補償費である。



開発途上のあさぎり駅前

### 川辺川総合土地改良事業費 組合負担金九百二十七万二千元

**問** 川辺川総合土地改良区の負担金が毎年計上されているが全く進展がない。今後、どのような方針で会議に臨まれるのか。

**答** 水が欲しいと言われている農地に水を届ける必要がある。それを基本として六市町村長の会議に臨んでいく。

### 農業振興事業補助金四百万円

**問** 農業振興補助金の内容と、この金額の積算根拠は。

**答** 農業機械等の導入や、施設整備の事業に対して三分の一の補助を行なうもの。金額の根拠は、行財政改革長期計画の中で、財政当局と協議して予算化している。

## 平成22年度あさぎり町 一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ4億9,031万7千円を追加し

歳入歳出予算総額が121億8,368万2千円となりました。

|      |              |              |
|------|--------------|--------------|
| 主なもの | ※財政調整基金積立金   | 1億 961万3千円   |
|      | ※公共施設整備基金積立金 | 1億 6,076万1千円 |
|      | ※産業活性化基金積立金  | 3億円          |

◎減額された予算もありますので、追加予算額と歳出の主なものの合計金額は合致しません。

# 8名が登壇

6P

**澗田 勇一 議員**  
上球磨消防署西分署設置は  
**愛甲利孝 議員**  
町の危機管理体制の構築を

7P

**岩水国昭 議員**  
あさぎり中学校正門は北門を  
**永井英治 議員**  
水稲の作付け配分率の見直しは

8P

**宮原盛幸 議員**  
何を目的に行革をするのか  
**小見田和行 議員**  
次期町政に向けた政策の根  
幹は何か

9P

**溝口峰男 議員**  
植樹祭の計画は  
**奥田公人 議員**  
集落道路の改良を

## 問 上球磨消防署西分署設置は

**町長** 正副組合長会に正式に申し入れた



澗田 勇一 議員

砂除去は。

**町長** 伐採跡地の植栽推進を図っている。又ダムの土砂除去は四十七%の進捗である。

**澗田** 自然災害の危険箇所調査はできているか。

特に免田川堤防が傷んでいるが国、県へ要望陳情はされているか。

**町長** 調査をし防災計画を策定、訓練等にも取り組んでいる。一級河川免田川の損壊箇所は県に報告済み。

**澗田** 皆越地区や急傾斜地帯の防災対策とダム堆

**澗田** 次に消防本部広域化についてどこまで進んでいるか。

**町長** 県は広域化を既定の事実のように説明があったので異議を述べた。現段階でメリット、デメリットが明確でない。又各議長から協議会へ入る事に辞退があり、広域化は前に進んでいない。

**澗田** 人命優先で考えて



免田川堤防の損壊箇所

行つてほしい。以前上球磨消防署西分署設置を要望した際に下球磨との統合も考えられるとあった。町長の今の考えは。

**町長** 上球磨消防署西分署設置を正式に正副組合長会議に申し入れた。

## 問 町の危機管理体制の構築を

**町長** 万全を期していく



愛甲 利孝 議員

**愛甲** 新燃岳の爆発的噴火による町の降灰対策の現状と対応策、また、今後いつ起きるかわからない地震等の自然災害等発生時の危機管理体制をどのように構築していくか。

**町長** 球磨地域振興局において新燃岳の降灰対策情報連絡会議が開催された。町でも課長会で今後の対応策を検討している。自然災害等発生時も万全の対策を講じていきたい。

**愛甲** 町民が加入しておられる国民年金・厚生年金の給付状況、納付状況等はどうなっているか。また、町民が低年金者、無年金者となって貧困に直面することがな

いよう、どのように取り組んでいくか。

**町民課長** 国民年金、厚生年金あわせて受給者が九千九百九十四人、支給額が五十二億九千五百六十六万円。被保険者は三千五百三十五人で納付率は六十五・六%。4月から年金ネットサービス事業を開始する。町民課の窓口で年金加入記録等がわかるようになる。



都城市御池小学校噴石除去作業



岩水 国昭 議員

一般来客用車輛は現在の正門から駐車場へ誘導する方法を考えている。北門からはいると学校施設内を横断することにな

岩水 あさぎり中学校は、生徒の登下校八割が、現上中の北門を利用されるところの事であるが、生徒の連帯を高めていくためにも、正門は北門として、整備すべきと思うが。

**教育課長** 全体的な施設配置の面から、通勤とか

一般来客用車輛は現在の正門から駐車場へ誘導する方法を考えている。北門からはいると学校施設内を横断することにな

岩水 町道八幡久鹿線において道路の幅員が急に狭くなっている、交通安全

から整備されるべきかと思うが。

**町長** この道路は地元から、要望書も出ており、

中学校道路整備の一環として検討する。

**建設課長** 調査をして、改良等の必要があるところは、路線整備計画の中

で進めたい。

岩水 町道八幡久鹿線において道路の幅員が急に狭くなっている、交通安全から整備されるべきかと思うが。

**町長** この道路は地元から、要望書も出ており、中学校道路整備の一環として検討する。

**建設課長** 調査をして、改良等の必要があるところは、路線整備計画の中

で進めたい。

道路整備を

岩水 町道八幡久鹿線において道路の幅員が急に狭くなっている、交通安全から整備されるべきかと思うが。

**町長** この道路は地元から、要望書も出ており、中学校道路整備の一環として検討する。

**建設課長** 調査をして、改良等の必要があるところは、路線整備計画の中

で進めたい。

一般質問その後の対応は

岩水 観光案内養成講座その後の対応は。

**教育課長** 文化財ボランティア養成事業として、七回程の講座を計画している。

正門から管理棟玄関へと続く、プロムナードやアプローチが南九州一とも言われており、開校後も今の正門を利用したい。

岩水 観光案内養成講座その後の対応は。

**教育課長** 文化財ボランティア養成事業として、七回程の講座を計画している。

正門から管理棟玄関へと続く、プロムナードやアプローチが南九州一とも言われており、開校後も今の正門を利用したい。

岩水 観光案内養成講座その後の対応は。

**教育課長** 文化財ボランティア養成事業として、七回程の講座を計画している。

正門から管理棟玄関へと続く、プロムナードやアプローチが南九州一とも言われており、開校後も今の正門を利用したい。



現上中学校の北門

## 問 水稻の作付け配分率の見通しは

農林振興課長

配分率の激減は無いと考える

永井 昨年、「米戸別所得補償モデル事業」が

配分率は、昨年対比で四・八%減に

実施され、10a当たり一万五千円が交付された

対して、あさぎり町は二・四%しか

が、それが皮肉にも米価の下落を招く一因になっ

た。また、飼料用稲に10a当たり八万円が交付さ

れる事から、米の作付け面積が大幅に減少するの

ではと予想され、それが

来年、再来年の米の作付け配分率に影響が出る

のではないかと危惧されるが、町としてどう考

えるか。

小中学校におけるICTの活用

永井 色々な議論の中で導入された電子黒板だ

が、児童生徒の学力向上につながっているか。

**教育課長** 導入してまだ短期間で、数字的には

無理だが、半数以上の児童生徒が、電子黒板を使った授業が

良く分かると回答している。

永井 教育の原点は、読み書きであると思うが。

**教育課長** 教育の中では、物を書いたり読んだり

が原点だと思うので、電子黒板は教育の一つの道具

として、現場で有効に活用していく。

田植えが済んだ水田



田植えが済んだ水田



宮原 盛幸 議員

# 問 何を目的に行革をするのか

## 町長 税金を生かすため

**宮原** 合併してから

今日まで行革の名のもとに、行政の機能、機関、組織を改革されたと思う。私は改革自体が目的ではないと考える。町長は何を目的に改革されるのか。

**町長** 行政は住民の皆さんから税金をいただいているので住民生活にその税金を生かすべきと考えている。具体的には将来に向けた安定的な財政基盤を築くこと。行政サービスと町民負担を納得して進めていくこと。そして広域的な行政活動にとり組むことである。

**宮原** 私は議員に当選した時から一貫して住民の負担を減らすこと、負担の少ない町づくりを目指して議員活動をしてきた。だから行政にはそれを求めているし、行革の目的も負担の少ない町を創ることだと確信している。高齢化社会ではなおさらである。町長はどう考えておられるか。



**町長** 財政状況を見るとこれ以上負担を増やさない取り組みをやっていき

**宮原** 合併した事により議員の数、町長を含む特別職は確実に減らすことができた。行政では組織の簡素・合理化等が図られたと思うが。

**総務課長** 三つの改革を実践してきた。一つが人の改革、職員の意識改革等である。二つ目が組織の改革、三つ目が事務事業の改革である。歳出削減に効果があったと試算している。

他の質問した内容  
○事業の見直し等について

# 問 次期町政に向けた

## 政策の根幹は何か

### 町長 地元で仕事ができる環境づくり



小見田和行 議員

**小見田** 研修地になるような魅力ある自治体には、首長が選挙で代わられても、その町村の発展に向け、その土地、自然、人を活かした揺るぎない政策の根幹が脈々と受け継がれているように思う。

議員で研修した岩手県葛巻町や、木の博覧会で講演いただいた長野県

根羽村にも、そのようなことを感じた。あさぎり町にとって政策の根幹となるものは何なのか、首長たる人、リーダーはその将来ビジョンを広く発信し選挙に臨むべきと考えているが、想いを伺いたい。

**町長** 当初は企業誘致活動を行ってきたが、社会環境変化で会社も海外進出が続いている。仕事はすぐ来るわけではない。この四年間を通して、あさぎり町の自然、山と川とか田畑とか、そこに住む人々を活かしていく

ところに本当のあるべき道があると思っている。基幹産業の農林業の振興と六次産業化を図るべきと考えている。

他の質問した内容  
○財政見直しと暮らしについて



長野県根羽村村長の講演





木の博覧会での記念植樹(須恵・湯谷)

できない。間伐ばかりをするのではなく適期伐期がきているものは、全伐をし植林等を計画し継続的な施業計画の中で持続可能な職場環境を作れば若者も山で働くことができ

るが。  
**農林振興課長** 利用間伐がほとんどだが、仕事の場を確保するという事

で、皆伐を今、検討している。

**溝口** 長寿社会において、老人クラブ、敬老会の加入年齢を六十五歳、七十五歳からにしてほしいとの声を多く聞く。年齢の見直しはできないか。

**町長** 現実的に見据えて見直す方向にしてい

と思う。  
**溝口** 協働のまちづくりは、今後大変重要なこと。

町民に対して理解を得る努力をしていく必要がある。旧上村時代に協働のまちづくりのモデルとなる土木費等の補助条例があった。自分達でできる事は自分達でやると言うもの。町でも検討すべきではないか。

**副町長** そういった条例があったことは非常にすばらしい。地域住民が一

緒に参加して事業をやる。そういった時代が今、始まっている。十分研究させていただきたい。



溝口 峰男 議員

## 問 植樹祭の計画は

**町長** やる意義は大いに  
あると思う

## 問 集落道路の改良を

**建設課長**

公共性が高い道路については  
整備を進めていく

**奥田** あさぎり町内の集落を見渡してみると、い

まの生活道路が存在して

いる。昔は車両も少なく、

小型化していたので、さ

ほど問題はなかったろう

と思うが、今日では車両

も大きくなり道路幅が気

になつてきた。もし火災

が発生したら、上球磨消

防署のポンプ車の進入が

困難になり、消火活動に

大きな支障を来す事にな

りかねない。又急病やけ

がのときの救急車の進入

も困難になると思う。こ

の様な狭い集落道路の改

良は出来ないか。

**建設課長** 集落内の狭い

道路については、大きく

分けて、個人的な私用の

公衆用道路、昔から地域

の方々にご利用されてきま

した里道、それから交付

税の基礎数値として、算

定の基礎に上げてありま

す町道と認定してある道

路。私個人名義の道路に

ついては、それぞれ個人

の方々に責任持って管理

をしていただかなければ

ならない。里道について

は現地のほうを確認した

上で法定外公共物と

いうことで譲与申請

を受けている。町道

につきましては、道

路台帳という形で図

面、調書等で管理し



奥田 公人 議員



幅員のせまい集落内道路(宮籠)

ている。公共性が高い道路については、整備を進めていくということになると思う。

他の質問した内容

○用排水路の整備について

○大型排水溝の堆積土砂除去について

# 常任委員会等報告

## 総務文教委員会

「旧上学校給食センター解体工事に関する調査について」

延べ五日間、担当課等の聞き取り、現地調査等を行った。

発注者、業者ともに解体工事現場地下にコンクリート塊が残存しているという認識はなかったとのことであった。

調査の結果から、総務文教委員全員、当該地下コンクリート塊は、給食センター残存基礎に間違いなという意見で一致した。

又、発注者の、解体工事業者に對する、監理・監督業務に不足・不備があったとの考えでも一致した。

## 厚生常任委員会

一月二十八日、本庁舎会議室「白髪岳」において常任委員会を開催した。十二月定例会前に永井英治議員が紹介者となり私立保育園の園長先生方から出されていた「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に對

し現行保育制度の拡充を求める国への意見書を求める請願について、まずその制度案をひもとき研修した。今後三月定例会期中に改めて紹介議員より請願趣旨及び内容の説明を受けたのち審議をし、結論を見出す予定である。

## 建設経済常任委員会

一月二十四日、二月九日に皆越分校の有効活用並びに緊急雇用対策委託事業の取り組み、特産品開発について、現地に出向き調査を行った。



期待がかかるシイタケ栽培

皆越分校の利用は、「木造校舎である魅力を生かし、宿泊施設や加工場に整備し民間に委託し活用する事が望ましい」との意見で一致したので提案する。二十三年で緊急雇用対策事業の補助は終了する。

六つの事業の中で、町の産業として期待がかかるのがシイタケ栽培である。原木の調達等で引き続き支援が必要である。薬草栽培は、安定した収入が見込めるので

「農業法人」化を図り、生産者の育成並びに栽培指導に対する支援が求められる。

緊急雇用対策事業の目的は失業対策である。それぞれの事業に大きな投資がなされているので、投資が無駄とならないためには、継続した雇用につながる事が重要である。この一年しっかりと計画の中で事業が進められる様注視していくこととした。

## 一部事務組合議会報告

### 人吉球磨

### 広域行政組合報告

○平成二十三年三月三日定例会が開会（一日目）

二名の議員辞職に伴い、あさぎり町議会皆越てる子議員、宮原盛幸議員が、新たに紹介されました。今回提出議案十四件、条例関連六議案及び平成二十二年年度補正予算四議案を可決しました。

○平成二十三年三月二十四日開会（二日目）

日程第二、汚泥再生処理セン

## 川辺川総合土地改良事業組合議会報告

ターにて生産する肥料を引き渡す際の手数を徴収する条例の一部を改正する説明を受け質疑、可決し、閉会しました。

平成二十三年第一回川辺川総合土地改良事業組合定例議会が二月二十四日会期一日で開催され、まず、松本組合長より、相良村土地改良区組合員への利水事業に関する説明会及び意見交換会を一月二十一日に開催したという報告が

ありました。六百二十三名の組合員の内五十四名の出席で、出席率は八・七%だったそうです。水利権の問題や事業完了後の負担金などの質問がでたそうです。

議案では二十二年度末を控えて予算額に過不足が生じたので、それに基づく補正予算と二十三年度の当初予算を審議し、賛成多数で原案のとおり可決しました。

一般質問で相良村選出の茂吉隆典議員から、相良村土地改良区への対応についてと、川辺川事業組合の今後の見通しなどについて質問が行われました。

正副組合長から二月二十八日に再度説明会、意見交換会をする。それぞれ柳瀬西溝、飛行場かかり用水路を含めた既設導水路案で進めたいという答弁がありました。

## 上球磨消防組合議会

平成二十三年第一回定例会が、二月二十八日に開催された。議案第一号で、職員の定数を六十七人から六十四人に減員改正する提案があり、原案通り可決された。

議案第三号では、二十三年度一般会計予算が、歳入歳出それぞれ五億九千七百五十万円(内、あさぎ

り町負担金二億七千八百万円)で可決された。また閉会后、議員懇談会が開催され、「熊本県消防広域化推進計画」に基づき、城南ブロックでの協議の現況については「現状としては、なかなか進展が困難である」との説明がなされた。

## 公立多良木病院企業団議会報告

平成二十三年第一回定例会が開催され提出案件八件についていずれも原案通り可決された。

平成二十三年度病院、老健及び健診事業、会計予算では、収益的収入四十四億七千五百四十九万八千円。収益的支出四十四億一千二百三十五万四千円。六千三百四十四万四千円の純利益の見込み。

あさぎ町負担金については、病院事業の特別交付税措置分二百十六万一千円。老健事業負担金二千六十六万一千円。病児、病後児保育事業負担金百四万三千円。計二千三百八十六万五千円となる。

## あさぎり中学校開校準備調査特別委員会報告

前回から

二回の委員会を開催した。三月十七日の委員会ではあさぎり中学校準備に関する件について現地調査、会議を行った。



建設中のプール・管理棟の現地調査

①あさぎり中学校整備事業進捗状況の現地調査確認

②調査・確認後の会議  
会議では教育委員会から整備事業進捗状況と計画について説明を受けた。その内容は校歌の選定、スクールバス運行計画について、あさぎり中学校の施設整備状況の報告である。また質疑では

①校歌の歌詞が選定できているのか  
②スクールバスの須恵深田方面運行で最初の二路線から四路線になったがこのようなりかたではないのか、等があった

## 議会改革調査特別委員会報告

第十四回を三月二日に開催

◎通年議会について

継続的に検討していく

◎採決結果の公表について

番号制にした案件について載せる

◎その他の案件として議員定数、報酬について

第十五回を三月十日に開催

◎各種計画策定の議決事項の条例化について

◎議員定数、報酬について

たたき台を出す

◎通年議会について

継続審議

◎各種審議会、委員会等の委員就任の是非について

◎議会報告会の開催について

第十六回を四月四日に開催

◎各種審議会委員会等の就任について

◎採決結果の公表について

◎区長会への検討状況報告について

持続可能な地域に !!

# 木の博覧会



尾鷹実行委員長



清水保育園「この木 なんの木」

木の博覧会が、2月5日から13日まで9日間、須恵文化ホールを中心に開催されました。

これはあさぎり町商工会、中球磨森林組合、あさぎり町などで組織する実行委員会が主催で開催されたものです。議会としましても、期間中、さまざまな催しものに参加させていただきました。議員の3名から報告させていただきます。

次の世代に  
引き継がれる地域に

愛甲利孝

九日間にわたるさまざまな催しものをみせていただきました。すべてが、初めての木の博覧会とは思えない程の、素晴らしい内容でした。その中でも、この実行委員会のメンバーの一人でもあった熊本県立大学の蓑茂壽太郎理事長の講演がとても記憶に残っています。球磨盆地の話から始まったところですが、全国に同じような盆地が一五五あるそうです。その中でも、人吉球磨地方ほど稲作に適したところはないそうで、稲作の歴史は弥生時代にさかのぼるのだそうです。それは四方を山々にとりかこまれて豊富な水と肥沃な農地があるためだということでした。しかしながら近年、日本が高度経済成長をする中で、一次産業の農業、林業が工業化の波に押し流され、臨海工業地帯を中心に、人と物が集中し、地域の衰

退化が進んでしまったということでした。この現状を直視しながら、いま一度持続可能な地域社会を構築しなければならぬということでした。この木の博覧会を契機に地域のよさを見直そう、その中から将来のこの地域のありようを構築していこうという講演に深い感銘をおぼえたところです。

この木の博覧会から一ヶ月後、三月十一日に東日本大震災がおきました。私達の地域は大震災はあるかもしれないませんが、少なくともあのような大津波はきません。木の博覧会で、私達が生まれ育ったこの人吉球磨盆地の将来を考えさせられたあとだけに「このふるさとを次の世代に引き継いでいける地域にしなければならぬ」ということを強く感じさせられた木の博覧会でした。

ブランドで持続的に発展

溝口峰男

木の博覧会が二月五日から十三日の九日間において開催されました。

多くの参加者が木のぬくもりに触れ、森林が持つ役割や先人が守り育ててきた豊かな森林資源の営みに感謝し、この資源を有効に活用しながら持続可能な地域発展に結び付けて後世に引き継ぐ大事さを学んだ博覧会であったと思います。



木造の流し台

その中で、十二日のあさぎりブランド塾講座に参加して学んだことを報告します。

その内容は、五つにわかれています。一はブランドを考える前に。二はブランドの課題を知る。三はブランドの構造と働き。四はブランドをつくるために。

(一)ブランド作業はその前提を理解することが大切であり、マーケティング戦略をおろそかにしてのブランド化は無理がある。そして、ブランドはマーケティングの成果指標でもあり、良いマーケティングと良いブランドには相互作用が働くということです。



大型林業機械操作体験

(二)気がつけば、身の回りにはブランドがあふれ、実に様々なブランドに囲まれている現代であります。誰でも(自治体も)がブランドの送り手、作り手になれます。

(三)ブランドのもっとも簡単な定義は、「差別化するためにシンボル化した名前」であります。いかに効果的・効率的に記憶づくりが出来るかが勝負であります。

(四)ブランドには四つの効果があります。一・個性が際立ち、識別効果 二・印象深さで、記憶・再生効果 三・品質感で満足感と信頼感で優先(被)選択効果 四・愛着感で長期支持効果。ブランドには、原産地効果

が存在しその地域に固有のイメージがブランドに追加されることで、力を増し加えたり、減じたりする

この効果もあります。

(五)ブランド効果の波及として、一・情報交流が促進される 二・マーケティング活動の自由度が高まる



優良絵画作文の表彰

三・文化形成力、展開力の基盤が出来ます。

ブランドは、人から選ばれる地域になることで、地域を活性化し、持続的に発展させるために必要な事です。ブランドは、一朝一夕に出来るものではありません。伝統的な名前に甘えたり、過去の実績にとらわれたいすることなく、常に現在と未来に向けた努力をしていき、一人ひとりが「あさぎりブランド」を語るようになり、そして自分たちで「あさぎりブランド」を作

り上げられるように努力していきましょう。

### 長野県根羽村 トータル林業の挑戦 奥田公人

二月五日から二月十三日までの九日間をかけて『木の博覧会がやって来た2011 in あさぎり』が開催され盛り沢山のメニューをこなし、大盛会の内に終了しました。二月五日の初日はあさぎり町小中学校生による記念植樹が行われ、五小学校、五中学校の児童・生徒四十三



長野県根羽村小木曾村長

名が、あさぎり町須恵湯ノ谷において記念植樹を行いました。その後午前十一時より須恵文化ホールにおいて木の博覧会の開会を宣言する開会式を開催。屋内ではパネル展示等が行われ、屋外

においては豊田工業所によるプロセッサ、フォークリフト、スイングヤーダといった大型林業機械の展示が行われたり、住宅軸組展示や、木の断面構造材展示が行われました。二月七日には森林ビジネスモデル講演会が開催され、「マチに産直住宅一、〇〇〇棟を建てたムラ」長野県根羽村、トータル林業の挑戦と題して根羽村長、小木曾亮氏を招いて講演会が実施されました。小木曾亮氏村長は、昭和十四年根羽村に誕生され、平成三年根羽村長に初当選されました。同年、水資源の涵養を目的とする全国初の森林整備協定を愛知県安城市と締結したのをはじめ、森林整備、伐採搬出から丸太の加工及び製品の販売を地域内で完結させる「トータル林業」の構築に尽力してられます。長野県



専立寺保育園児の太鼓演奏

の最南端に位置した根羽村は九十二%が森林地帯であります。村は明治時代に約四、六〇〇ヘクタールの村有林を村民一人当たり約五・五ヘクタール貸し付けられているようで、村民の山に対する愛着はひとしおであります。平成三年に民間から村長に就任以来、林業の機械化を進めながら、コストの削減に努力された小木曾村長は、林業の低迷により、近隣町村が温泉やゴルフ場などの観光事業に力を傾注され始めても林業に深くこだわったことなどを述べられました。七軒あった

製材所が相次いで廃業していく中で、村で一軒を買って取って森林組合に委託し、同十二年から本格的に稼働させ年間一三〇棟を受注させている状況を話されました。根羽村で整備されている森林は年間で四〇〇ヘクタールから五〇〇ヘクタールにおよびます。森林組合、設計士、工務店も一緒にあって『トータル林業』の仕事が構築されたとの事。山林所有者、森林組合の信頼関係も築くことが出来たと述べられ、年間一五〇棟の受注を目指す構想も示されました。水源林の涵養を



上第二保育園児のダンス

目的に、上流域の根羽村と下流域の交流が昔から盛んになり、全国初の森林整備協定を結んだことや、森林組合は歩合制から月給制に変えるなどの、いろいろの取り組みを経過しての今があり、家を建てる際の情報共有もトータル林業ならではの魅力ではないかと話されました。又、ユニークな取り組みとして職員の採用の時酒を飲ませて、その人の人格を見ると言われ、会場から爆笑が沸き上がりました。その他色々な催しが行われたが大変印象のある木の博覧会であったと思います。



チェンソーカービング

# インターネットで生中継

## 6月定例議会から配信

議会改革の一環として議会の活動をもっと皆さんに知って頂くために議会映像配信システムの整備を行いました。インターネットによる生中継と録画配信を6月定例議会から配信致します。あさぎり町のホームページからアクセスできますので一度ご覧下さい。また生中継は、役場本庁舎、東庁舎、ポッポ一館及び各支所でもご覧頂けます。議会と町政を身近に感じて頂ける良い機会ですのでご利用下さい。



議会中継配信システムの操作盤

# 町の新しい風

## あさぎり薬草管理組合



三島柴胡の摘芯作業（昨年7月）

農家の収入増を目的にした新規作物の導入として、平成21年度「あさぎり町農業再生チャレンジ事業」により設立された、薬草「三島柴胡(みしまさいこ)」の栽培を中心とした、あさぎり薬草管理組合です。

現在、製薬会社「ツムラ」との契約で、「三島柴胡」320aの他、薬草「当归(とうき)」50a、薬用生姜10aを、組合長(小田 裕)を含め8名で栽培されておられます。

「三島柴胡」の栽培は2月～3月にかけて播種し、発芽後は雑草の除去に大変な苦労があるということで、今年は試験的にマルチ栽培に取り組むとの事でした。今は(4月中旬)、ちょうど発芽したところであり、発芽率も良好と言うことで、今年の作柄には期待できるとの話でしたが、一方で、栽培を始めてまだ3年目と経験も浅いので、「ツムラ」の栽培指導のもと、気を引き締めて皆で頑張っていきたいとの事でした。

また、山間部でも鳥獣害の心配が少ないと言う事から、耕作放棄地の解消にも貢献しており、他の生産者の栽培の模範となるよう、今後も栽培技術の向上と共に管理組合の経営の安定が期待される所です。

## 議員紹介

四月二十四日、あさぎり町議会議員補欠選挙がおこなわれ、二人の新しい議員が誕生しました。二人に議員になつての抱負をのべてもらいます。



4 番議員  
野中 進(厚生)

この度、皆様のお陰をもちまして、あさぎり町議会議員になりました。野中進です。残り任期一年という限られた時間の中で、自分出来る事・やれる事は何かと考えてみました。結果、私は一つでも多くの声を町政に届けるのが使命ではないかと考えます。あさぎり町に住む皆さんが幸せになるための声を、たくさんたくさん運びたいと思います。



10 番議員  
豊永 喜一(総務)

お世話になります。免田東の豊永喜一でございます。農協マンとしての33年間、本当に有難うございました。今後、町民の皆様のために、農協マンの経験と知識を活かしながら、町民の皆様の声を、行政にしっかりと伝えるパイプ役として、また町民の皆様の声を政策として実行できるよう誠意と熱意をもって取り組んでまいります。と思っています。ご声援、町民の皆様の叱咤激励、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

## 議会ひとくちメモ

(町議会のことをお知らせするコーナー)

## 維持補修費、補助費等とは

維持補修費は、町が管理する公共施設等を維持・保全するための経費です。公共施設を維持していくためには、この維持補修費のほかに施設管理する職員の人件費、または施設管理を委託するならば委託料がかかります。このような経費をランニングコストといいます。従来は建設前に十分な検討をしないで建ててしまったということも少なくなかったようです。

ゴミ処理施設、し尿処理施設、下水道処理施設等についても、ランニングコストを意識して、その節減に努めることが重要だといわれているところです。

補助費等とは、さまざまな団体等への補助金などです。補助金はいったん始めれば既得権の典型のようなものになり、その見直しはなかなか難しいといわれています。



# 町の声



免田東  
中村 幸人

## 4Hクラブを アピール!

私は二十歳の時に就農し農業を始めました。それと同時に球磨4Hクラブに入りました。

そもそも4Hクラブとは何なのかと言いますと、簡単に言うと若い農業後継者の集まりで、主な活動はあさぎり町や錦町の祭りに自分達が育てた農産物を販売したり、研修旅行に行ったりしています。特にメインは青年農業者会議と言うものがあり、各個人が我が家で作っている農作物についてプロジェクトを立ち上げ、まとめて発表する場があります。又、この時に、南稜高校生との意見交換会が恒例になっています。

来年度はトラック市の参加、保育園児との芋掘り体験、駅伝などが決まっております球磨4Hクラブをアピールできる場を増やしていきたいと思っています。しかし、現在クラブ員は7名と少ない人数で活動しているので、今の最重要課題は新規クラブ員を確保することです。

こんな4Hクラブですが、個性豊かで女性クラブ員もいますので球磨4Hクラブに興味をもたれた方、異業種間交流を希望の方、質問などがある方は「kuma4h\_kouhou@yahoo.co.jp」までメールをしてみてください。



深田中学校 三年  
出水田 千佳

## 最後で 最高の学校に するために

「今」の深中生は、今までの深中生とはちがいます。

私達は、今年一年を最後で最高の深中にしていくために春休み中の2日間を使い、先生方のご指導のもと、「リーダー研修会」を行いました。2日間という短い期間でしたが、多くの事が学べました。

今までと違って、全校生徒のくつのかかとかがきれいに揃っていて自慢できるほどです。

また、他にもなかなか出来ていなかった、立ち止まっていたのあいさつも、今ではみんな習慣として出来ています。このように様々な所でみんなの成長・自分の成長を感じる事が出来ます。

このように私達深中生は、リーダー研修会の時から日々の努力を重ねて成長しています。これからもリーダー研修会で学んだ事を生かし、日々成長していけるように、みんなで助け合い最高の深田中にしていきます。

今年一年で閉校してしまいますが、さらによりよい学校にしていきますので、これからも応援よろしくお願いします。

## 編集後記

今回の東日本大震災により犠牲になられた方、又、被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

今年には元旦早々、大雪、又新燃岳の噴火、そして三月十一日の想像絶する地震による津波、自然界の驚異に、人間の無力を見た様な気がしました。

一方、深刻な問題は原発事故ではないでしょうか。地震による自然災害で済む問題ではないと考えます。今後、日本の農林漁業に対して、風評被害が深刻な事であり、一刻も早い解決策と、一日でも早い復興を望み、末永く平穏である事を願いたいものです。

三月定例会において骨格予算も決まり、二十三年度がスタートしました。今後もこの議会だよりにおいて、町の現状と情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思っております。  
(桑原)

### 編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

### 広報調査特別委員会

委員長 愛甲利孝  
副委員長 皆越てる子  
委員 奥山保  
委員 桑田  
委員 原公保  
委員 永井英治